

ありあけあんどん 有明行灯

えどじだい めいじじだいでご
江戸時代～明治時代頃

そとばこ そくめん みかづき まんげつ かたち まど ほう
外箱の側面に三日月、満月などの形の窓があり、方
こう か あか ちょうせつ しょうめいき ぐ そとばこ
向を変えて明るさを調節できる照明器具。外箱を
だい つか
台にして使うこともできます。